

だっこだっこあみだっこ

ぼく・わたしを育てるほとけのことば
浄土（じょうど）—目にみえない世界を知る—

菜園日記

平成 29 年

9.10

月号

こども盆灯会（ぼんとうえ）

くらしの歳時記
—お彼岸のはなし—

句仏上人 いろはに俳句

東山浄苑東本願寺発！ママと子どものフリーペーパー **だっこだっこあみだっこ** です♪
あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる**子育て**は、**とても尊い大事な**
ことです。いい子になってほしい、と思いながらも、**ほんとうのやさしさ、かしこ**
さ、強さってなんだろう？ —ほとけさまのみ教えが、悩めるパパ、ママのともしびになりますように。ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば：「浄土(じょうど) 一目にみえない世界を知る」

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

お盆がおわり、夏休みもおわりましたね。

夏休みに、きもだめしをしたり、こわいおばけの話を聞いたりした人もいるでしょう。

また、お盆にお寺で「地獄」の話を聞いた、というひともあるかもしれません。

「地獄はえんまさまやこわい鬼たちがいるところで、悪いことをしたひとが行くところ
でしょう？ ぼくはどろぼうもしないし、いい子だからだいじょうぶ！」と思いますか？

それとも「地獄なんてあるわけない！」と思いますか？



ろくどうりんね 六道輪廻

仏教では、生きとし生けるものは死ぬと六つの世界に生まれかわるといわれます。一つが「地獄」、それから「餓鬼」
「畜生」「修羅」、それからわたしたち「人間」の世界、最後に「天上」の世界で、この六つの世界を「六道」といいます。

①地獄

生きているうちに悪いことをした人たちが、いろいろな罰を受ける
世界です。うそをついたり、約束を破った人は、釜ゆで地獄に、
盗みをした人は、火あぶりに、
悪口を言った人は、針地獄に落ちて串刺しにされたりします。



②餓鬼

生きているとき、よくばりだったり、必要以上にたべものやものを
ほしがったり、ほかの人にもものを分けなかつたりした人たちが行く世界
といわれています。

おなかがすいて、食べ物を食べようとして口に入れても吐いて
しまったり、のどがかわいて水を飲もうとすると火にかわってしまったり…
つねに飢えとかわきに苦しむ世界です。



③畜生

畜生とは、人間以外の動物の世界です。本能のまま、欲望のままに
生きる動物たち、弱い生き物は強い生き物に食べられてしまいます。

④修羅

修羅の世界とは、けんか、あらしい、戦争が絶えない世界です。
自分はすごいんだ、ぜんぶまわりが悪くて自分は悪くない、と自分を
たなにあげて、ほかのひとに怒ってばかりのおろかな人が行く世界
といわれています。ひどいけんかの現場を、「修羅場」といいますが、
これは、インドの神さまのアスラとインドラが、激しい戦いをくり広げた
場所、というのがもともとの意味です。



⑤人間

今、わたしたちが生きている人間の世界です。いろいろな悩み、苦しみがある世界ですが、楽しいこと、うれしいこともある世界で、六道の中で人間の世界だけが、ほとけさまの教えにであうことができる世界です。



⑥天上

私たちがあおぎ見る空の上にあると言われている世界で、人間界のような悩みや苦しみはなく、天上人たちは毎日をのんびりと平和に、さまざまな遊びや快楽を尽くして暮らしています。ですが、自分勝手に、仏さまの教えをきくことができず、煩惱にみちた世界です。

天上？ 餓鬼？ 修羅？ そんな世界、あるわけない！ だれか見たひとはいるの？

「六道輪廻」は、なにも死後の世界のことだけではありません。

今生きている私たちも、生きながら六道輪廻をさまよっていることがあります。

例えば、わるいことをしたことがばれて苦しい思いをしたり(地獄)、新しい洋服やおもちゃを買ってもらっても満足できず、また他のものがほしくなったり(餓鬼)、本能のままにふるまってしまったり(畜生)、おともだちとけんかしたり、勉強でいつもだれかと競ったり(修羅)、ちょっとうまくいくと調子に乗って他の子を見下したり(天上)…。どれひとつ身におぼえのない、というひとはいないのではないのでしょうか。



それじゃあ、どうして苦しいことがいっぱいなの六つの世界をぐるぐるまわらなければいけないの？ どうしたら安心して、しあわせにすごすことができるの？

ごくらくじょうど 六道をこえた仏さまの世界

わたしたち人間の世界は、泣いたり怒ったり、つらいことも多い世界ですが、ひとにやさしくしたりやさしくしてもらったり、助けたり助けられたりすることがもっとも多い世界です。そして、お釈迦さまが、この人間の世界に生まれて、仏教をお伝えくださったおかげで、わたしたちは仏さまのみ教えにであうことができました。この世で、さとりを得られたのはお釈迦さまただおひとりですが、この世をこえた世界には、大日如来や薬師如来など、「ガンジス河の砂の数ほど」の仏さまがいらっしゃって、仏さまおひとりおひとりが、自分の国「浄土」をもっています。大日如来の密厳浄土や、薬師如来の東方浄瑠璃世界など、さまざまな浄土があります。阿弥陀如来さまは、迷いつづける人間の世界をご覧になって、「わたしを心から信じて、わたしの国に生まれたいと願う者を、一人残らず必ず救おう」と誓われて、極楽浄土という浄土をたててくださいました。

目に見えない世界を知る

目に見えないから存在をみとめない、信じない、というのは、よく考えてみるととてもごうまんな考えです。だって、自分の目で見たものがこの世のすべてで、正しい、と思っているのですから。

わたしたちには、まだわからないことがたくさんあり、知らない世界があって、知らず知らずのうちにさまざまな恩をいただいて生きています。

蓮如さまという室町時代のお坊さんは、「雨山のご恩」ということばをくりかえし

人々にお話しました。わたしたちは、目にはみえなくとも、雨のようにふりそそぎ、山のようにおおきな恩をいただいている。地獄や餓鬼の世界、お浄土にかぎらず、目にみえない、まだ知らない、たくさんのわたしたちをとりかこむもの。

こうした目に見えない世界を知り、想像するちからが、となりのおともだちのかなしいきもちに気づき、やさしく助けることにつながっていくのではないのでしょうか。



だっこだっこあみだっこは、毎月東山浄苑東本願寺で開催している「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い - 仏法に親もう 土に親もう! - つてなめに?

毎月第3日曜日(行事等で変更の場合あり)に、
東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。
なんでもありがたくいただいて、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。

家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、
「いただきます」「ありがとう」の豊かなところを育てましょう。
乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。
お気軽にお尋ねください!



【活動日】毎月第3日曜日 ・年中行事の折には変更 【場所】東山浄苑東本願寺

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問い合わせ・参加のお申し込みは★
東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 **075-541-8391** 毎日 9:00
~ 17:00



—参加者募集中! 今後の親子仏法の集いご案内—

9月17日(日)

10:00~12:00

【9月のことばと目標】

わげんあいご
和顔愛語

—やさしいかお、やさしいことばをわすれずに—

【活動内容】

ししとう・しその収穫
大根の種まき



10月15日(日)

10:00~12:00

【10月のことばと目標】

ろくはらみつ
六波羅蜜

—「やってみる」ことの大切さ—

【活動内容】

さといもの収穫
ラディッシュ・チンゲンサイの種まき



【場 所】東山浄苑東本願寺内

【参加費】1家族 1回 1,000円 ◎初参加の方無料!

※参加ご希望の方は事前にお電話でお申し込みください。

※野菜の生育状況などによって、活動内容は予告なく変更になる場合があります。
あらかじめ、ご了承ください。

※雨天の場合は、扇子づくりなど室内企画を行います! お楽しみに♪

だっこだっこあみだっこ 平成29年9・10月号

平成29年9月12日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上山旭山町8-1 電話 075-541-8391

無料